

発 言 通 告 書

令和6年9月11日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 本 田 精 志

次のとおり通告します。

発言順位	19	受領日時	9月11日 午後 1時 30分	1枚中 1枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 45分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	商店街活性化の取組について	(1) 商店街空き店舗出店促進事業と商店街等連携・賑わい創出支援事業の内容とその実績などの現状について問う。 (2) 今後の商店街活性化に向けた取組について問う。
2	松山市マイ・タイムライン防災アプリについて	(1) 松山市マイ・タイムライン防災アプリの登録者を増やすためにどのような周知をしたのか。 また、現在の登録者について問う。 (2) マイ・タイムラインの作成や情報発信機能に加え、アプリのオプション機能をどのように防災に役立てていくのか問う。 (3) アプリに搭載されている情報の更新や充実など、アプリのバージョンアップを考えているのかについて問う。
3	坊っちゃん列車について	坊っちゃん列車の魅力や付加価値の向上に取り組む考えについて問う。
4	温泉ツーリズム推進協議会について	(1) 温泉ツーリズム推進協議会の設立目的と協議会が果たす役割について問う。 (2) 温泉シンポジウムin松山の参加者数と取組内容及びその成果について問う。 (3) 温泉ツーリズム推進協議会への参加により、インバウンド誘客に今後どのように取り組むのか問う。
5	広域的な誘客について	(1) 別府市と観光交流都市協定を締結してから、相互誘客にとどまらず、周遊観光にも取り組んでいるが、これまでの成果について問う。 (2) 本市が全国から選ばれる観光地となるために、どのように誘客を図っていく考えなのか問う。